

成果の実用化に関するお願い
 (販売先・共同開発等のパートナーについて)

受付番号： H11-0083	主分類	水産	副分類	診断薬	健康
課題名： 環境ホルモンによる生物個体の汚染検出用簡易迅速測定法の開発					
(企業名) 株式会社ビーエル					
(企業の主要な事業内容) 体外診断用医薬品、実験動物用試薬、環境分析用試薬など研究開発および微生物の受託培養検査を行っている。					
(利用分野・用途) ・ 環境ホルモンのスクリーニング検査 ・ 全血を用いたイムノクロマトグラフィー法					
(特徴) ELISA法は操作が煩雑で、反応が長時間となり特殊な検出装置を必要とするが、本法は簡易な操作で時間が短く(10~15分)特殊な装置を必要としない試薬である。					
(従来技術・競合技術) ELISA法・免疫凝集法などで、反応時間が2時間以上かかる。					
(要望事項) 環境ホルモンによって、魚のオスがメス化する場合に産生するタンパク質を簡易迅速に測定できるキットです。					
(新技術の概要) (参考)					
					